

Nov. 18



Nov. 19



Nov. 20



Asia Pacific DX Convention

2005

Nov. 18 - 20

SEANET Convention 2005 in Bangalore, India

JA3AER 荒川 泰蔵

第33回 SEANET コンベンションは、去る10月7日から3日間、インドのバンガロール市の中心にある Hotel Gateway を会場として開催され、我々大阪国際交流センターラジオクラブからも4名のメンバー (JA3AA 鳥さん、JA3UB 三好さん、JE3BEQ 宮本さん、JA3AER 荒川) が参加した。インドのシリコンバレーと呼ばれているバンガロールは、ITを中心とした産業が急成長中であるが、人口650万人のこの街は、新しさと古さ、富裕と貧困が混在し、発展する産業にインフラが追いついていない感じであった。

コンベンションの初日である7日は午後4時から受付が始まり、参加者はそれぞれインド風の歓迎を受け歓談が始まった。今回は当地で来年開かれる IARU 第3地域会議の準備会に集った K1ZZ, David, 9Y4NED, Noel, JJ10EY 関戸さん達の参加もあったが、総勢60人ほどで例年に比べて淋しいコンベンションであった。日本から参加の9名が外国勢では最多であった。その夜はインド料理の立食バイキングでの夕食会であった。

2日目の午前中は観光バス2台を連ねての市内観光であった。途中タウンホールをバックに集合写真を撮った。一巡して Ballal Residency ホテルで南イン

ドの伝統的なベジタリアンフードを楽しんだ。午後自由時間を思い思いに楽しんだ後、民族舞踊の歓迎を受け、続く晩餐会では VU2RCR, Chandru が代表者として挨拶の後、参加各国の代表者からそれぞれ挨拶があり食事が始まった。外国からの参加者が少なかったこともあって例年の各国のエンタテメントは日本とインドにとどまった。日本からは日本人全員で JE3BEQ 宮本さんの指揮による、「千曲川」、「お嫁において」、「上を向いて歩こう」の3曲を合唱。他の参加者達もハミングをしたり、踊り出したりして加わってくれた。また、インドからは VU2GGM, Govind の2nd 姉弟がインドの歌を披露してくれた。姉の Deepa はこの12月にアマチュア無線の試験を受ける予定で、弟の Abhay は2年後12歳になったら試験を受けるという話だった。

最終日の9日はテクニカルセッションとして、HAMSAT の Mr. J. P. Gupta によるインド初のアマチュア無線サテライトについての講演を聞いた後、来年度の「SEANET 2006 in Osaka」を紹介する機会を得た。会場では大阪への期待が高まり、19人の参加予約を受け付けた。コーヒープレイクの後、2007年度の SEANET コンベンション開催地をタイの HS1XIM, Ponwat が提案したチェンマイ市に決

めた。最後に VU2RCR, Chandru から SEANET のバナーが次期開催地である大阪の代表 JA3AA 鳥さんに手渡され幕となった。別れを惜しみながらの昼食会は再びポーチでの立食バイキングであった。

今回の SEANET コンベンションを通じ多くのインド人ハムと出会ったが、異色の DXer は YL ハムの VU2CVP, Chitra と車椅子の VU2MKP, Bob で、Chitra は 5Band DXCC のタイトルを保持し、アンダマンなどにも DX ペディの経験があるとか。そして Bob は顎の下にある黄色の丸いジョイスティックを顎で動かして上手に電動車椅子を操っていた。言語障害はないものの、両手を含む下半身は動かさず食事も介護人に頼っていたが、アマチュア無線には熱心で、多くのバンドで JA 局と数え切れないほど QSO したとのこと。無線機の操作も全てジョイスティックで出来るようにしているが、その場合リモートコントロールの可能な ICOM の機器が最も適しており、HF には IC-746 を、V/UHF とサテライト通信には IC-910 を使っているとのことだった。

尚、今回のコンベンションの様子は <http://www.seanet2005.com/> で、また来年のコンベンションの案内は <http://www.qsl.net/seanet2006/> で見る事ができる。

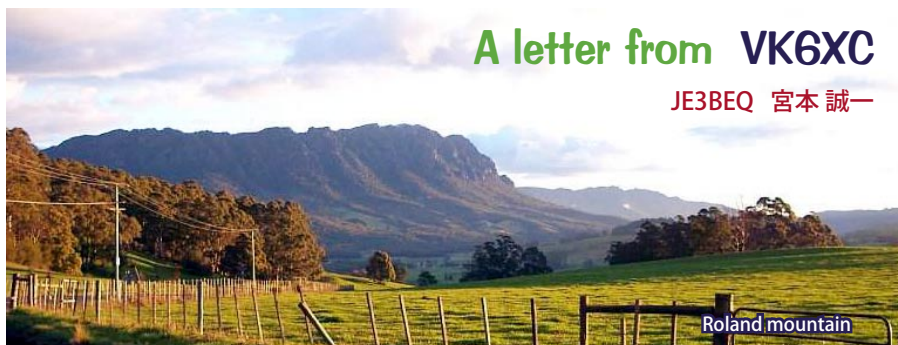
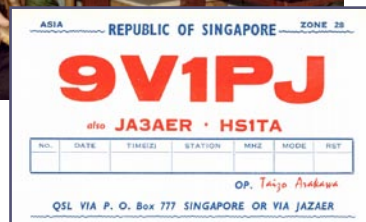
来年(2006年)は大阪で開催の予定



一枚の写真から **9V1PJ** の巻 JA3AER 荒川 泰蔵

写真は 1969 年にシンガポールでの免許申請に備えて準備中の時のものである。コールサインは順番に割り当てられていたので 9V1PM あたりかと思っていたら、君が申請するであろう事を聞いていたので、JAPAN の J をあけておいたと 9V1PJ のコールサインを割り当ててくれた。この 9V1PJ は私が海外で得た正式な免許の最初のものである。落成検査時必要な周波数測定器は 9V1NR, Dr. Charan が貸してくれたので問題なく、検査に来た 2 人の検査官は主に近所への TVI など混信の有無を確認するという実用的なものであったが、これも問題なく無事合格した。アンテナは裏庭の椰子の木に近所の子供達が登ってくりつけてくれた G5RV で、JA にも良く飛んでくれた。

さて、このコラムはコールサインの ABC 順に 1 局ずつ紹介させて頂きましたので、重複した文字で紹介できなかった局もいくつかは残っていますが、それはまたの機会にということで、「一枚の写真から」シリーズとして紹介させて頂いた私の海外での運用記録は今回を持って終了させて頂きます。ご愛読どうも有り難うございました。



A letter from **VK6XC**

JE3BEQ 宮本 誠一

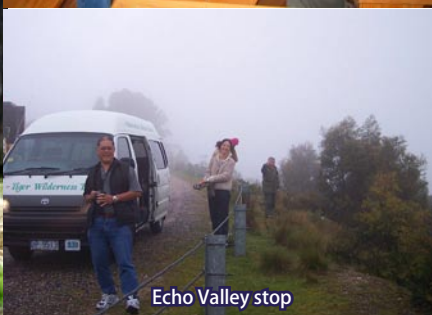
VK6XC Ben さんから久し振りに本誌に便りが来ました。奥さんの Lisa さんと VK7 (タスマニア島) に行かれたとのこと、寒かったけれどベリーグッドだったそうです。

On the 24 Oct 05, my XYL Lisa & I visited Launceston, Tasmania (VK7).

Tasmania is a peaceful place, an island with special beauty and character. A special place that we visited is Cradle Mountain National Park, a World Heritage area. About 1545 metre above sea level, good for Dx hi hi.

In October, it was still cold about 5c rainy and cloudy. Best time is in March to visit Cradle mountain National Park.

Ben VK6XC



IARU コンテストで日本のヘッドクォーター局 8N3HQ 開設運用にアイハウスラジオクラブメンバーが協力し昨年実績を上回る成績を収めた。

Newsletter
<http://ja3.net/ihouse/html/nl.html>
 会報を自由にダウンロードすることができます

Web: <http://ja3.net/ihouse>

Rollcall
 Every Saturday 00:00UTC @14.155MHz

Monthly meeting
 at International House Osaka
 on the 2nd Friday of each month